

## 第5学年

## おおたの未来づくり科学習指導案

A ものづくり イ オリジナルポスター制作

令和7年10月21日  
5年2組 26名  
5年3組 27名

○「おおたの未来づくり」と本校の校内研究とのつながり

**研究主題 主体的・対話的に活動する中で豊かに表現できる児童の育成**

### 【第5学年がめざす児童像】

- ・体験や情報収集を通して、社会の事象に興味や関心をもち、自分の考えや意見をもつ子。
- ・相手の考えと比較し、自分と相手の意見や考えを確かめながら、自分の思いを伝える子。

### 【5年生分科会提案】

#### 研究主題迫るための手立て

##### ①素材との出会いの設定

矢口出張所 林所長より「大田区のまちづくり推進部」の取り組みについて知り、20年30年後の多摩川が生き物にとって優しく、私たちにとって安全で安心な場所であるように、今できることは何かその企画の依頼を受ける。

##### ②意見や考えの確かめ方や手本となるやり取りを示す。

国語で学習した質問のしかたや答え方を改めて確認し、よりよい企画に向けて良いところやアドバイスを伝え合うポイントを可視化する。

##### ③話し合いの機会を多くもつ。

よりよい提案ができるように、自分の意見について根拠や理由を明確に示しながら話す機会を設定する。また、お互いの意見をよく聞いて、その考えを認めながら広げ、グループの考えとしてまとめていく機会も設定していく。

#### 1 単元名「多摩川の魅力発信～つなぐプロジェクト わたしたちの宝島」

#### 2 単元の目標

矢口出張所からの呼びかけと区民活動団体との出会いをきっかけに、SDGsの視点で多摩川の生態系や天災が与える生態系への影響など多摩川の魅力や課題をとらえ、環境保全への理解を深める。また、課題解決をするための方法を考えることを通して、企業などと連携し、多摩川の魅力や課題を発信する写真撮影の技術や見せ方を学ぶ。

さらに、それらを活用して、今年度は写真を生かしたものづくりに取り組む。課題をよりよく解決する取り組みを試行錯誤しながら考え、自分や他者のよさを生かしながら進んで地域の環境や社会をよくしようと行動する態度を養う。

### 3 単元の評価規準

内容	学習過程	A 知識及び技能	B 思考力、判断力、表現力等	C 学びに向かう力、人間性等
	コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自分たちが他の生き物たちにどのような影響を与えているか理解する。</li> <li>②地域に住む住民として、生活を支えてきた多摩川の歴史について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①SDGsの視点を深めるために、必要な情報を整理分析してまとめ、「環境保全」につながる課題を設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ゲストティーチャーとの対話を大切にしながら、SDGsの視点に立ち、協働的に課題設定に取り組もうとしている。</li> </ul>
	デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>①企画したことが、相手に分かりやすく伝えられるような方法に関する知識や技能を身に付けている。</li> <li>②ICTを活用した情報収集・スライド作成・調査に関する知識や技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ゲストティーチャーからの話をもとに、「多摩川の環境保全」に向けた企画について、内容資料をまとめたり、提案方法を工夫したりしている。</li> <li>②学級間で企画が共有できるように、効率性を意識したICTの有効活用をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ゲストティーチャーからの話をもとに、「多摩川の環境保全」に向けた情報収集に取り組もうとしている。</li> <li>②他者との協働、振り返りなどのために、ICTを活用しようとしている。</li> <li>③学級で考えた企画を振り返り、価値や改善点を見出そうとしている。</li> </ul>
	クリエーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>①デザインしたものを実際に表現するための技能や必要な知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①課題解決のために、「環境保全」に合った構図を考え、ポスター撮影で表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①課題解決のために、「環境保全」に合ったポスター作りに向けて、取り組もうとしている。</li> <li>②他者との協働、振り返りなどのために、ICTを活用しようとしている。</li> </ul>

### 4 単元指導計画

#### (1) 本単元で補完する内容

教科名	本単元で補完する内容	授業時数 全35時間 未来:15時間
国語	〇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較	6時間

	<p>しながら、自分の考えをまとめる。(思・判・表)</p> <p>単:話の意図を考えてきき合い、「きくこと」について考えよう</p> <p>○互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げまとめたり。(思・判・表)</p> <p>単:たがいの立場を明確にして、話し合おう</p> <p>○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くことで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。(思・判・表)</p> <p>単:意見文を書いて読み合い、よいところを見つけよう</p>	*1学期で2時間 分実施済
社会	<p>○川が汚れていた原因、汚れていた川をきれいにしたり、守り続けたりする取り組みについて理解する。</p> <p>単:環境を守るわたしたち</p>	3時間 *3 学期の学習と入替
算数	<p>○目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。</p> <p>単:データの活用</p>	2 時間 10月トピック
理科	<p>○川の増水による自然災害に触れ、防災について考えること。</p> <p>単:生命・地球</p>	3 時間 10 月上旬
図工	<p>・自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。</p> <p>・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。</p> <p>共通事項</p>	3時間 11月 Canon
家庭科	<p>○家族や地域の人々とのよりよい関わりについて考え、工夫すること。</p> <p>単:家族・家庭生活</p> <p>○環境に配慮した生活について物の使い方などを考え、工夫すること。</p> <p>単:消費生活・環境</p>	2時間
道徳	<p>○つながりの中にある生命のかけがえのなさを自覚し、生命を大切に生きていくことについて考える。</p> <p>主:つながる命 生命の尊さ</p>	1時間 単元まとめ
総合	<p>○体験や情報収集を通して、社会の事象に興味や関心をもち、自分の意識の変容に気づき、調べたことを効果的に表現する。</p>	15 時間

## (2) 指導計画と評価計画

学習過程	学習活動と教師の働きかけ	外部連携	時数	評価規準
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢口出張所 林所長より「大田区のまちづくり推進部」の取り組みについて知り、20年30年後の多摩川が生き物にとって優しく、私たちにとって安全で安心な場所であるように、今できることは何か投げかけてもらう。</li> <li>・多摩川へ行ったり、ゲストティーチャーに話を聞いたりして、多摩川の現状を知る。</li> <li>・多摩川の環境や地域との連携に関する学習課題を立てる。</li> <li>・学習計画を考えて、ゴールへの見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢口特別出張所</li> <li>・多摩川とびはぜ倶楽部</li> </ul>	国語2 総合4	A-① ② B-① C-①

デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題を解決するために、本やインターネット、観察などを通して調べる。</li> <li>・課題をよりよく解決する取り組みについて考える。</li> <li>・<u>考えた企画案を学級間で共有できるようにプレゼンを考える。</u></li> <li>・アドバイスをもとに内容を再検討し、修正する。</li> <li>・考えた企画案を学級間で共有する。(エリア協議会)</li> <li>・考えた企画を林所長へ伝える。</li> </ul>		国語2 社会3 算数2 理科3 家庭2 総合5	A-① ② B-① ② C-① ② ③
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林所長から、多摩川の環境保全について呼びかけるポスターの依頼を受け、ものづくりに向けて計画を立てる。</li> <li>・連携企業の写真教室に参加し、写真から伝わる多摩川の魅力に気付いたり、課題の解決に生かしたりする見せ方(写真の構図)を考える。(研究授業)</li> <li>・ポスター作りに向けて、多摩川河川敷で写真撮影をする。</li> <li>・環境保全におけたポスターの学級代表を決める。</li> <li>・学級代表をもとに、行政や校内でよりよいポスターを決めてもらう。</li> <li>・次年度に向けて、環境保全に向けて考えた企画について4年生に発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢口特別出張所</li> <li>・Canon</li> </ul>	国語2 図工3 道徳1 総合6	A-① B-① C-① ②

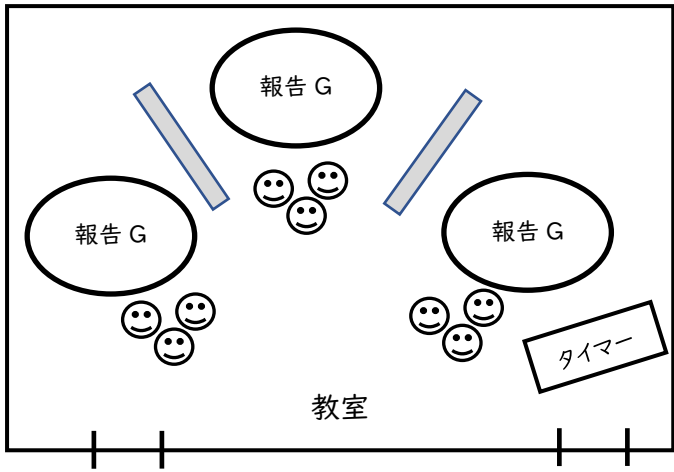
## 5 本時の指導

### (1) 本時の目標

・安心・安全な多摩川を守るために自分たちにできることについて、その企画案を学級間で共有する。

### (2) 展開 (13/35 時間)

時間	学習活動 T:主な発問	★手だて ○留意点 【 】評価 ( ) 評価方法
3分	・本時のめあてを確認する。  <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             企画について質問やアドバイスを受け、よりよい内容にしていこう。           </div>	
30分	T:今日は、他の学級の仲間からも企画について、質問やアドバイスを受けて、よりよい内容にしていきましょう。  ・企画案について紹介する。  ・企画案について、質問を受ける。	○2組と3組の企画をそれぞれ、半数に分けて、前半報告と後半報告を実施。 2組(2組教室,1組教室使用) 3組(3組教室,4組教室使用) ○報告時間を守れるように、時間設定を示す。 ★報告する側(報告G)は、ブースを固

<p>12分</p>	 <p>T: 企画案についてもらったアドバイスは、各グループで確認して、次にする活動の見通しを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画案について、アドバイスを受ける。</li> <li>・本時を振り返り、次の活動の見通しをたてる。</li> </ul>	<p>定することで、報告の機会数を設けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★報告を分担することにより、企画への思いに、全員が自信をもって伝えられるようにした。</li> <li>★相手の企画がよりよい内容になるように意識し、よいところや確かめたいところなどを詳しく伝え、アドバイスへつなげていく。</li> </ul> <p>○アドバイスについては、付箋を使って渡す。</p> <p>○アドバイスを基に、次回に向けて、修正点を話し合う。</p> <p>【C-③】ワークシート、付箋、発言</p>
------------	---	---

### (3) 板書計画

<p>めあて</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>企画について質問やアドバイスを受け、よりよい内容にしていこう。</p> </div> <p><b>良いところ・アドバイスを伝える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドのメッセージ 提案理由の分かりやすさ</li> <li>・スライドの画像 企画内容と資料が合っているか</li> </ul>	<p>&lt;アドバイスの書き方の例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドのメッセージ メッセージをはっきりさせるため、言葉を少なくする。</li> <li>・グラフについて 変化しているところを指して話すといよい。</li> </ul>
--	---

### 授業の視点

○めざす児童像への手立ての有効性

手立て②<意見や考えの確かめ方や手本となるやり取りを示す。>

本時における具体的な手立て

- ・報告を分担することにより、企画への思いに、全員が自信をもって伝えられるようにした。
- ・相手の企画がよりよい内容になるように意識し、よいところや確かめたいところなどを詳しく伝え、アドバイスへつなげていく。